

伊藤病院 看護職員の負担軽減計画

平成31年1月1日

分野	現状・問題点	目標	計画	達成項目のチェック		備考
				H31年4月	R2年3月	
看護部	<ul style="list-style-type: none"> 勤務環境の整備が不十分 ベテラン職員の退職 人材確保が困難 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務環境の整備をすすめる 離職の防止、人材確保 退職予定者、産休育休予定者の 人員確保 	<ul style="list-style-type: none"> 超過勤務を行わない業務配分 業務多忙のときは超過勤務者を指名、他は退勤する 有給休暇取得を進める 指定有給休暇制度を受け年間5日以上取得をめざす 短時間正規雇用職員の活用 時短勤務者の希望を取り入れ勤務継続をやすく 看護補助者との業務分担を進める 現1.5名の補助者を2名に増員できるよう検討 夜勤専従勤務者の確保 2名の専従者を確保できるよう関係方面へ依頼強化 定年後の嘱託職員の増加に伴い常勤看護師の確保 	△		継続
			△		継続	
			○		継続	
			△		継続	
			△		継続	
看護業務	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に指示受けが完了しない 診療補助の事務的業務 退院調整が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムの活用 診療情報管理士による診療補助 業務の分担 退院予定者の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムを活用するが予め注射や内服など 指示切れが発生する患者情報を医師へ提供する必要 診療情報管理士による電子カルテ入力の継続 退院予定者を把握し必要書類の作成や関連施設との 連携をスムーズにする 	△		継続
			○		継続	
薬剤管理	<ul style="list-style-type: none"> 中止、休薬などの再調剤 注射薬の準備が煩雑 持参薬の内容が把握し難い 	<ul style="list-style-type: none"> 中止、休薬などを薬剤科で再調剤する 翌日分の注射薬を個人別にわかり やすくする 持参薬管理 	<ul style="list-style-type: none"> 中止、休薬などを薬剤科で再調剤する 電子カルテの機能により個人名・実施日ラベルを 貼付する 全ての持参薬の薬剤鑑別を依頼し鑑別書を受ける 	○		継続
			○			
			○			
栄養部	<ul style="list-style-type: none"> 栄養管理の実施 嗜好調査の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟訪問 個別的栄養指導による患者教育 	<ul style="list-style-type: none"> 食事に関する嗜好調査の継続、患者満足度の向上 栄養相談、指導の実施 	○		
			△		継続	
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ADL低下、要介助状態の患者の増加 摂食嚥下機能の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 活動性向上 介護量軽減 入院によるADLの低下を防ぐ 活動性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 機能低下を防ぐ継続的リハビリの実施 実用性の高いリハビリの実施 摂食嚥下機能の低下をできるだけ防ぐ 	○		継続
			○		継続	